別表２



別表３

**防火・防災管理委員会構成表**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **役　職** | **氏　　名** | **備　考** |
| **委 員 長** | 管理権原者 |  |  |
| **副委員長** | 防火・防災管理者 |  |  |
| **副委員長** |  |  |  |
| **委 員** |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

　　　　※　必要に応じてＰＤＣＡに関する小委員会等を設置する。

別表４



別表５

**防火・防災対象物実態把握表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 項　　　目 | 内　　　　容 |
| 建　　物　　等 | 所有形態 | 単 独 ･ 共 有 ･ 区分所有 ･ その他（　　　） |
| 建築年月日 | 年　　月　　日 |
| 階　数 | 地上　　 階　・　地下　　階　・　Ｐ |
| 全体の用途 |  |
| 建物全体の面積 | ㎡ |
| 建物全体の収容人員 | 名 |
| 建物構造 | 耐 火　・　準耐火　・　防 火　・　木 造 |
| 建物の耐震性 | 耐震構造　・　制震構造　・　免震構造 |
| 耐震診断の状況 |  |
| 直通階段 | 屋内（　　本）　　・　　屋外（　　本） |
| 避難場所（一次） |  |
| 建物内の事業所数 |  |
| 防災センター | 地上・地下　　　階　　常駐　　　　人 |
| 非常用エレベーター | 該　・　否　　　設置数（　　） |
| その他のエレベーター | 該　・　否　　　設置数（　　） |
| エスカレーター | 該　・　否　　　設置数（　　） |
| 危険物施設 | 危険物施設等の区分・場所 |  |
| 危険物取扱者氏名 |  |
| 品　名　・　数　量 |  |
| 届　出　・　許　可 |  |
| 消防設備 |  |
| 消防用設備等 | 消火設備 | 消火器 | 該･否 | 避難設備 | 避難器具 | 該･否 |
| 屋内消火栓設備 | 該･否 | 誘導灯･誘導標識 | 該･否 |
| スプリンクラー設備 | 該･否 | 消防用水 | 該･否 |
| 泡消火設備 | 該･否 | 消火活動上必要な設備 | 排煙設備 | 該･否 |
| 不活性ガス消火設備 | 該･否 | 連結散水設備 | 該･否 |
| ハロゲン化物消火設備 | 該･否 | 連結送水管 | 該･否 |
| 粉末消火設備 | 該･否 | 非常コンセント設備 | 該･否 |
| 警報設備 | 自動火災報知設備 | 該･否 | 無線通信補助設備 | 該･否 |
| ガス漏れ火災警報設備 | 該･否 | その他 |  | 該･否 |
| 放送設備 | 該･否 |  |
| 消防機関へ通報する火災報知設備 | 該･否 |
| 備　　考 |  |

　※　必要に応じて平面図・立面図等建物概要図を活用する。

別表６

**防火・防災管理業務委託状況表**

（　　　　　年　　　月　　　日現在）

|  |  |
| --- | --- |
| 委 託 方 式 | □ 常駐　□ 巡回　□ 遠隔移報　□ 常駐遠隔　□ 巡回遠隔 |
| 防火対象物 | 名　　　称所　在　地 | 　　　　　　　　　　　　　　TEL（　　）　　　　－ |
| 管理権原者氏名 |  | 防火管理者氏名 |  |
| 受　託　者　関　係　事　項 | 受託者の氏名、住所＊法人等の場合、名称及び事務所の所在地 | 氏名（名称）住所（所在地） |
| 担当事務所　　　　　　　　　　　　　　TEL（　　）　　　　－ |
| 受託者の行う防火・防災管理業務の範囲 | □ 火気使用箇所の点検等、監視業務□ 火災異常の遠隔監視及び現場確認業務□ 避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理□ 火災が発生(発見)した場合の初動措置　□ 初期消火　　□ 通報連絡　　□ 避難誘導　□ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）□ 周囲の可燃物の管理□ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 受託者の行う防火・防災管理業務の方法 | 受託区域 |  |
| 常駐場所 | 　　　　　　TEL（　　）　　　　－ |
| 従事区分 | □ 終 日 | □ 就業中 | □ 就業外 |
| 常駐人員 |  |  |  |
| 従事時間帯 | ＊＊＊＊ |  |  |
| 巡　　回 | 回(　名) | 回(　名) | 回(　名) |
| 要員待機場所 |  | 到着所要時間 | 覚知後　　分 |

別表７

**予防活動組織編成表**

|  |  |
| --- | --- |
| 防火・防災担当責任者 | 火元責任者 |
| 階 | 役　職 | 氏　名 | 担当区域 | 氏　名 |
| Ｂ１ | 総務課長 | ○○○○ | 倉庫、ボイラー室 | ○○○○ |
|  | ○○○○ | 駐車場、機械室 | ○○○○ |
| １階 |  | ○○○○ |  | ○○○○ |
|  | ○○○○ |  | ○○○○ |
|  | ○○○○ |  | ○○○○ |
| ２階 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ３階 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ４階 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ５階 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

別表９

**自主検査チェック表　（定期）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | 検　　　査　　　項　　　目 | 結　果 |
| 建築物及び工作物 | １ | 柱・はり・壁・床等に欠損・ひび割れ・脱落・風化等はないか。 |  |
| ２ | 天井の仕上材に、はく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等がないか。 |  |
| ３ | 窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下、又は枠自体のはずれのおそれのある腐食、ゆるみ、著しい変形等がないか。 |  |
| ４ | 外壁・ひさし・パラペット等の仕上材に、はく落・落下のおそれのあるひび割れ・浮き上がり等が生じていないか。 |  |
| ５ | 防火区画（床又は壁）の埋めもどし施工は、完全であるか。 |  |
| ６ | 防火戸、防火シャッター及び閉鎖装置は、破損、さびつき等がなく、確実に作動するか。 |  |
| ７ | 防火戸、防火シャッターの作動ライン内に物品を存置していないか。 |  |
| ８ | 防火戸、防火シャッターの直近に可燃物を存置し、延焼媒介となるおそれがないか。 |  |
| ９ | 常時閉鎖式防火戸は、開放状態のまま放置していないか。 |  |
| 10 | 避難口扉の開放方向は、外開きとなる等、避難上適正であるか。 |  |
| 11 | 階段、通路等の避難施設の床面は、避難に際しつまずき又はすべり等が生じるおそれがないか。 |  |
| 防火管理 | 12 | 収容人員の定員管理は、適切に行っているか。 |  |
| 13 | 消防計画は、実態に即した内容とし、従業員に防火上必要な教養、訓練を実施しているか。 |  |
| 14 | 増改築、模様替え等の工事を行う場合は、適切に防災計画を樹立し、万全を期しているか。 |  |
| 15 | 非常用進入口に通じる通路は、有効に確保しているか。 |  |
| 16 | 建築物内外は、常に整理整頓し、可燃物は放置していないか。 |  |
| 17 | 終業後の防火点検は、確実に実施しているか。 |  |
| 避難管理 | 18 | 避難口扉は、開放したとき、開いた扉によって避難通路を狭めることがないか。 |  |
| 19 | 避難口扉は、避難に際して鍵を用いることなく、屋内から解錠することができるか。また、解錠方法の表示があるか。 |  |
| 20 | 避難口扉は、カーテン等で隠ぺいしたり、鏡その他の装飾品等を設けたりして識別の妨げとなっていないか。 |  |
| 21 | 避難口付近は、物品等を存置し、避難上支障となっていないか。 |  |
| 22 | 防火戸、防火シャッター等のそでとびら又はくぐり戸は、避難に際して直ちに開閉することができるか。 |  |
| 23 | 避難通路は、入場者の避難が容易に行うことができるように、すべての避難口に直通しているか。 |  |
| 24 | 避難通路は、入場者の避難上有効な幅員となっているか。 |  |
| 25 | 避難通路、避難階段に避難上支障となる物品を置いていないか。 |  |
| 26 | 階段を一部の用途専用となるように区画し、避難の障害となっていないか。 |  |
| 27 | 客室内に避難施設等を図示した避難経路図の掲出を行っているか。 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | 検　　　査　　　項　　　目 | 結　果 |
| 防炎規制 | 28 | カーテン、幕類、布製ブラインド、じゅうたん等、展示用合板等の防炎対象物品は防炎性能を有しているか。 |  |
| 29 | 防炎性能を有するものには、防炎ラベルを貼付しているか。 |  |
| 火気使用設備・器具等 | 30 | 火気使用設備・器具等の構造は適正か。 |  |
| 31 | 火気使用設備・器具等の付近は整理整頓され、可燃物は火災予防上安全な距離を有しているか。 |  |
| 32 | 煙突、煙道の構造は適切か。また、可燃物とは安全な距離を保有しているか。 |  |
| 33 | 厨房設備・器具等（給湯湯沸器含む｡）のフード、フィルター、ダクト内は、定期的に清掃し、防火ダンパーの維持管理は適切か。 |  |
| 34 | 異常燃焼時に安全装置は適正に機能するか。 |  |
| 35 | 燃焼器具の周辺部に炭化しているところはないか。 |  |
| 36 | 火気使用設備等は、取扱責任者を定め、使用時の監視並びに使用後の点検を励行しているか。 |  |
| 電気設備・器具等 | 37 | 電気配線は、適切な配線工事をしているか。 |  |
| 38 | 電線、コード、器具等は使用場所、用途に適合したものを使用しているか。 |  |
| 39 | コードの亀裂、老化、損傷はないか。 |  |
| 40 | タコ足の接続を行っていないか。 |  |
| 41 | 許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。 |  |
| 42 | 電気設備は、必要な知識及び技能を有する者によって保守点検し、安全に使用しているか。 |  |
| 火の使用制限 | 43 | 裸火の使用、危険物品の持ち込みをする場合は、必要最小限度とし、消防署の許可を受けて行っているか。 |  |
| 44 | 喫煙の管理は、喫煙場所を設けて適切に行っているか。 |  |
| 45 | 喫煙所や禁煙場所を示す標識は適切に掲出されているか。 |  |
| 危険物等 | 46 | 消防法又は大阪市火災予防条例で定める数量以上の危険物等(指定可燃物等、圧縮アセチレンガス、無水硫酸、液化石油ガス、生石灰、毒物、劇物を含む｡)を、無許可又は無届けで、貯蔵又は取扱いをしていないか。暖房用燃料等の取扱いは、適正か。 |  |
| 47 | 容器の転倒、落下防止措置はあるか。 |  |
| 48 | 危険物の漏れ、あふれ、飛散はないか。 |  |
| 49 | 整理、清掃状況は適正か。 |  |
| 検査実施日 | 　　 　　年 　　月 　　日 | 防火・防災管理者統括防火・防災管理者 |  |
| 検査実施者 |  |

　備考【不備・欠陥がある場合は、直ちに防火・防災管理者に報告します。】

確認

　凡例【○－良、×－不良、◎－即時改修】

（いずれかに○印を付ける）

別表10

**消防用設備等自主点検チェック表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施設備 | 確　認　箇　所 | 点検結果 |
| 消火器 | １　設置場所に置いてあるか。２　薬剤の漏れ及び消火器の変形、損傷、腐食等がないか。３　安全栓がはずれ、封の脱落がないか。４　ホースに変形、損傷、老化等がなく、内部に詰まりがないか。５　圧力計は指示範囲にあるか。 |  |
| 屋内消火栓設備泡消火設備(移動式) | １　使用上の障害となる物品はないか。２　消火栓扉は確実に開閉できるか。３　ホース、ノズルが接続され、変形、損傷等がないか。４　表示灯は点灯しているか。 |  |
| スプリンクラー設備 | １　散水障害がないか。２　間仕切り、棚等の新設による未警戒部分がないか。３　送水口の変形及び障害物の存置がないか。４　スプリンクラーヘッドに漏れ、変形はないか。５　制御弁は常時「開」の状態になっているか。 |  |
| 水噴霧消火設備 | １　散水障害がないか。２　間仕切り、棚等の新設による未警戒部分がないか。３　管、管継手に漏れ、変形がないか。 |  |
| 泡消火設備(固定式) | １　泡の散布を妨げるものはないか。２　間仕切り、棚等の新設による未警戒部分がないか。３　泡のヘッドの詰まり、変形はないか。 |  |
| 不活性ガス消火設備ハロゲン化物消火設備 | １　起動装置又はその直近に防護区画の名称、取扱方法、保安上の注意事項等が明確に表示されているか｡(手動起動装置）２　手動起動装置の直近の見やすい箇所に「二酸化炭素消火設備」「ハロゲン化物消火設備」の表示が設けられているか。３　スピーカー及びヘッドに変形、損傷、つぶれはないか。４　貯蔵容器の設置場所に標識が設けられているか。 |  |
| 屋外消火栓設備 | １　使用上の障害となる物品はないか。２　消火栓扉の表面には､｢消火栓」又は「ホース格納箱」と表示されているか。３　ホース、ノズルに変形、損傷がないか。 |  |
| 動力消防ポンプ設備 | １　常置場所の周囲に使用の障害となる物品がないか。２　車台、ボディー等に割れ、変形、ボルトの緩みがないか。３　管そう、ノズル、ストレーナー等に変形、損傷がないか。 |  |
| 自動火災報知設備 | １　表示灯は点灯しているか。２　受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。３　用途変更、間仕切り変更による未警戒部分がないか。４　感知器の破損、変形、脱落はないか。 |  |
| ガス漏れ火災警報設備 | １　表示灯は点灯しているか。２　受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。３　用途変更、間仕切り変更、ガス燃焼機器の設置場所の変更等による未警戒部分がないか。４　ガス漏れ検知器の変形、損傷、腐食がないか。 |  |
| 漏電火災警報器 | １　電源表示灯は点灯しているか。２　受信機の外形に変形、損傷、腐食等がなく、油、煙、ほこり、さび等で固着していないか。 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施設備 | 確　認　箇　所 | 点検結果 |
| 非常ベル | １　表示灯は点灯しているか。２　操作上障害となる物品がないか。３　押しボタンの保護板に破損、変形、損傷、脱落等がないか。 |  |
| 放送設備 | １　電源監視用の電源圧力計の指示は適正か。また、電源監視用の表示灯は正常に点灯しているか。２　試験的に放送設備により、放送ができるかどうかを確認する。 |  |
| 避難器具 | １　避難に際し、容易に接近できるか。２　格納場所の付近に物品等が置かれ、避難器具の所在がわかりにくくなっていないか。３　開口部付近に書棚、展示台等を置き、開口部をふさいでいないか。４　降下する際に障害がなく、必要な広さが確保されているか。５　標識に変形、脱落、汚損がないか。 |  |
| 誘導灯 | １　改装等により、設置位置が不適正になっていないか。２　誘導灯の周囲が、間仕切り、ついたて、ロッカー等で視認障害となっていないか。３　外箱及び表示面は、変形、損傷、脱落、汚損等がなく、かつ、適正な取り付け状態であるか。４　不点灯、ちらつき等がないか。 |  |
| 消防用水 | １　周囲に樹木等使用上の障害となるものはないか。２　道路から吸管投入口又は採水口までに消防自動車の進入路が確保されているか。３　地下式の防火水槽、池等は、水量が著しく減少していないか。 |  |
| 連結散水設備 | １　送水口の周囲は、消防自動車の接近に支障はないか。２　送水口に変形、損傷、著しい腐食等はないか。３　散水ヘッドの各部に変形、損傷がないか。４　散水ヘッドの周囲に散水を妨げる広告、棚等の障害物がないか。 |  |
| 連結送水管 | １　送水口の周囲は、消防自動車の接近に支障はないか。２　送水口に変形、損傷、著しい腐食がないか。３　放水口の周囲には、ホースの接続や延長等の使用上の障害となるものがないか。４　放水口を格納する箱は、変形、損傷、腐食がなく、扉の開閉に異常がないか。 |  |
| 非常コンセント設備 | １　周囲に使用上障害となる物品はないか。２　保護箱は変形、損傷、腐食等がなく、容易に扉が開閉できるか。３　表示灯は、点灯しているか。 |  |
| 無線通信補助設備 | １　地上及び地下の無線機接続端子には、無線機接続端子である旨が表示されているか。２　地上及び地下の無線機接続端子に変形、腐食がないか。３　地下の同軸ケーブルは、外形上著しいたるみ、亀裂等がないか。 |  |
| 検査実施者氏名 | 防火・防災管理者統括防火・防災管理者 |
|  |  |

　備考【不備・欠陥がある場合は、直ちに防火・防災管理者に報告します｡】

確認

　凡例【○－良、×－不良、◎－即時改修】

別表12

**防火・防災管理維持台帳に編冊する書類等**

　　　(防火管理維持台帳)

|  |  |
| --- | --- |
| １ | 防火管理者（再）講習修了証（写し）（再講習は該当する場合に限る） |
| ２ | 防火管理消防計画（写し） |
| ３ | 防火管理者選解任の届出書（写し） |
| ４ | ※統括防火管理者選解任の届出書（写し） |
| ５ | ※全体についての防火管理に係る消防計画（写し） |
| ６ | ※自衛消防組織設置の届出書（写し） |
| ７ | ※統括管理者等の自衛消防業務（再）講習の修了証（写し） |
| ８ | ※防火対象物点検結果報告書（特例認定申請・決定通知）(写し） |
| ９ | 消防用設備等・特殊消防用設備等の設置届出書（検査済証）(写し） |
| 10 | 消防用設備等・特殊消防用設備等点検結果報告書（写し） |
| 11 | 消防計画に基づき実施された事項を記録した書類 |
| 12 | 消防用設備等・特殊消防用設備等工事・整備経過記録書類（写し） |
| 13 | 消防機関等の立入検査結果通知書等（写し） |
| 14 | 消防訓練通報書（写し） |
| 15 | 建築物・工作物工事等関係書類 |
| 16 | 建築物定期検査等関係書類 |
| 17 | 建築物耐震診断等関係書類 |
| 18 | 防火関係機関の連絡先一覧表 |
| 19 | その他防火管理上必要な書類 |

　　　(防災管理維持台帳)

|  |  |
| --- | --- |
| １ | 防災管理者（再）講習修了証（写し） |
| ２ | 防災管理消防計画（写し） |
| ３ | 防災管理者選解任の届出書（写し） |
| ４ | ※統括防災管理者選解任の届出書（写し） |
| ５ | ※全体についての防災管理に係る消防計画（写し） |
| ６ | ※自衛消防組織設置の届出書（写し） |
| ７ | ※統括管理者等の自衛消防業務（再）講習の修了証（写し） |
| ８ | 防災管理点検結果報告書（特例認定申請・決定通知）(写し） |
| ９ | 消防計画に基づき実施された事項を記録した書類 |
| 10 | 消防機関等の立入検査結果通知書等（写し） |
| 11 | 防災訓練通報書（写し） |
| 12 | 防火・防災管理委員会等関係書類 |
| 13 | 建築物・工作物工事等関係書類 |
| 14 | 建築物定期検査等関係書類 |
| 15 | 建築物耐震診断等関係書類 |
| 16 | 防火・防災関係機関の連絡先一覧表 |
| 17 | その他防災管理上必要な書類 |

　　　※印：該当しない場合は、編冊する書類から除く。

別表13

**休日・夜間等の防火・防災管理体制**

**１　休日の指揮体制**

火気管理・出火防止

初期消火・延焼拡大防止

防災センター勤務員

〔　　　　名〕

本部隊　指揮者

通報連絡・被害状況の把握

施設設備担当職員

初期消火・延焼拡大防止

　防災センター責任者　　　　　〔　　　　名〕

救出救護

　（警備当直責任者）

＊　その他休日出勤者等の関係者は、上記各任務を本部隊指揮者の指示により行う。

**２　夜間の指揮体制**

火気管理・出火防止

防災センター勤務員

初期消火・延焼拡大防止

通報連絡・被害状況の把握

〔　　　　名〕

本部隊　指揮者

施設設備担当職員

初期消火・延焼拡大防止

救出救護

〔　　　　名〕

　防災センター責任者

　（警備当直責任者）

初期消火・延焼拡大防止

駐車場従業員等

〔　　　　　名〕

＊　その他夜間の残業者等の関係者は、上記各任務を本部隊指揮者の指示により行う。

別表14

**自主検査チェック表　（危険物施設）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | 検　　　査　　　項　　　目 | 結　果 |
| 位　置 | １ | 保安距離は、適正に確保されているか。 |  |
| ２ | 保安距離内に保安対象物の新築、又は保安対象物への用途変更はないか。 |  |
| ３ | 保有空地は、適正に確保され、空地内にドラム缶等の物品を存置していないか。 |  |
| ４ | 保安距離又は保有空地の緩和のために設けられた防火塀等に、亀裂や損傷等はないか。 |  |
| 構　造 | ５ | 建築物の主要構造部（壁、柱、床、はり、屋根、階段）に、損傷等はないか。 |  |
| ６ | 窓又は出入口の防火戸に、変形、損傷、機能不良はないか。 |  |
| ７ | 貯留設備（排水溝、ためます又は油分離装置）に、亀裂、損傷はないか。 |  |
| ８ | 貯留設備に土砂等の堆積や滞油はないか。 |  |
| ９ | 危険物を取り扱うポンプ室等の床に油、水等の滞留はないか。また、亀裂、損傷はないか。 |  |
| 10 | 屋外設備の周囲に設けられている危険物の流出を防止するための囲いその他流出防止装置に亀裂、損傷等はないか。 |  |
| 11 | 屋外設備の周囲に設けられている危険物の流出防止の囲い内に油、水等の滞留はないか。 |  |
| 12 | タンクの基礎若しくは架台又は防油堤に、変形、亀裂又は損傷等はないか。 |  |
| 13 | 危険物を貯蔵する架台に損傷、変形、固定不良はないか｡また、危険物を収納した容器の落下防止措置が講じられているか。 |  |
| 危　険　物　施　設 | 14 | タンク、危険物取扱設備又は危険物を取り扱う配管等から漏えいはないか。 |  |
| 15 | タンク及び危険物取扱設備に、変形、亀裂、損傷、さび止め塗装のはくり又は腐食等はないか。 |  |
| 16 | 危険物等取扱設備の計器、制御装置、安全装置等には、損傷がなく機能は適正か。 |  |
| 17 | 危険物等を取り扱う配管及びバルブ等に変形、損傷、さび止め塗装のはくり又は腐食等はないか。 |  |
| 18 | タンクの通気管、安全装置、自動表示装置、水抜管、注入口及び計量口には、変形、損傷がなく機能は適正か。 |  |
| 19 | タンク漏洩検査管内に土砂等の堆積はないか｡また、ふたは容易に開閉することができるか。 |  |
| 20 | 静電気除去装置に損傷、機能不良はないか。また、アースに断線、損傷又は、取付部に緩みはないか。 |  |
| 一般設備 | 21 | 配電盤、コンセント、電動機及び配線には、損傷がなく機能は適正か。 |  |
| 22 | 避雷設備、採光設備、照明設備、換気設備及び排出設備等には、損傷がなく、機能は適正か。 |  |
| 23 | 電気設備に、絶縁不良や接地不良はないか。 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | 検　　　査　　　項　　　目 | 結　果 |
| 消防用設備等 | 24 | 消火設備には、損傷、腐食等がなく、機能は適正か。また、設置場所は適切か。 |  |
| 25 | 警報設備には、損傷、腐食等がなく、機能は適正か。 |  |
| 26 | 避難設備には、損傷等がなく、機能は適正か。 |  |
| 貯　蔵　・　取　扱　い | 27 | 許可又は届出に係る品名以外の危険物の貯蔵、取扱いをしていないか。 |  |
| 28 | 許可又は届出に係る数量若しくは指定数量の倍数を超える危険物の貯蔵、取扱いをしていないか。 |  |
| 29 | 火気をみだりに使用していないか。 |  |
| 30 | 係員以外の者をみだりに出入りさせていないか。 |  |
| 31 | 整理、清掃し不必要な物件が放置されていないか。また、危険物のくず、かす等の廃棄その他の処置は適切か。 |  |
| 32 | 危険物等の性質に応じた遮光及び換気がなされているか。 |  |
| 33 | 危険物等収納容器には、損傷、腐食等がなく、材質及び表示は適正か。また、容器の貯蔵、取扱いは適切か。 |  |
| 34 | 危険物等収納容器の積み重ね高さは適切か。 |  |
| 35 | 危険物等のもれ、あふれ又は飛散の防止措置は適切か。 |  |
| 36 | タンクの注入口、計量口及び元弁の閉鎖状況は適切か。 |  |
| 37 | タンク防油堤の水抜口の閉鎖状況は適切か。 |  |
| 定期点検 | 38 | 保安検査は、適切に行われ、保存されているか。 |  |
| 39 | 定期点検は、適切に行われ、その記録が保存されているか。 |  |
| そ　の　他 | 40 | 無許可又は無届けで施設の位置、構造又は設備を変更していないか。 |  |
| 41 | 危険物取扱者以外の者が危険物を取り扱う場合は、危険物取扱者が立ち会っているか。 |  |
| 42 | 危険物保安統括管理者、危険物保安監督者、危険物施設保安員は、適切に業務を行っているか。 |  |
| 43 | 予防規程は遵守されているか。また、変更の必要はないか。 |  |
| 44 | 標識及び掲示板は、見やすい箇所に設けられているか。 |  |
| 45 | 標識及び掲示板の記載内容は適切か。また、文字は不鮮明となっていないか。 |  |
| 検査実施日 | 　　 　　年 　　月 　　日 | 防火・防災管理者統括防火・防災管理者 |  |
| 検査実施者 |  |

　備考【不備・欠陥がある場合は、直ちに防火・防災管理者に報告します。】

確認

　凡例【○－良、×－不良、◎－即時改修】

別表15

**非常用物品等の一覧**

|  |  |
| --- | --- |
| 種　別 | 品　　　名 |
| 応　急　手　当(医薬品・救急用品) | ○医薬品殺菌消毒剤、鎮痛剤、火傷薬、止血剤、胃腸薬、絆創膏等○救急用品包帯、ガーゼ、三角巾、脱脂綿、ハサミ、ピンセット、体温計、副木、毛布、シーツ等 |
| 救　出　救　護 | バール、ジャッキ、のこぎり、スコップ、つるはし、はしご、ロープ、鉄パイプ、斧、エンジンカッター、チェーンソー、担架、毛布等 |
| 非常用器具等 | 懐中電灯、ローソク、マッチ、ライター、トランシーバー、拡声器、メガホン、ラジオ、予備電池、ビニールシート、ビニール袋、ヘルメット、防災ずきん、軍手、皮手袋、テント |
| 生活必需品 | ○食料３日分／１人（缶詰、乾パン、インスタントラーメン、レトルト食品等）○飲料水３日分／１人（１人１日３ℓ）カセットコンロ、カセットボンベ簡易トイレ（消毒剤含む）下着、タオル、毛布、防寒衣、運動靴、せっけん、寝袋等 |
| 非常持ち出し品 | 職員等関係者連絡表、顧客情報、契約書、登記書その他重要書類又はデータ |
| そ　の　他 |  |

　（備考)

　　※　非常用物品は、定期的に点検を実施する。

　　※　火災・地震等の被害を受けにくい場所に保管・備蓄する。

別表17

（　　　　　　）地区隊の編成と任務

|  |  |
| --- | --- |
| 地区隊の編成 | 任　　　務 |
| 地区隊長　　（　管理権原者　　　　） | 地区隊の指揮統括 |
| 地区副隊長　（　防火・防災管理者　） | 地区隊長の代行 |
| 指揮・通信連絡・情報収集班 | 班長（　　　　　）班員（　　　　　）　　（　　　　　）　　（　　　　　）　　（　　　　　） | １　地区隊長の補佐２　地区隊への命令伝達及び情報収集３　自衛消防本部との連絡４　１１９番通報及び通報確認５　災害発生場所、被害状況等の本部隊への報告６　館内への非常放送及び指示命令の伝達７　消防隊への情報の提供 |
| 消火班 | 班長（　　　　　）班員（　　　　　）　　（　　　　　）　　（　　　　　） | １　出火場所へ直行し初期消火作業を実施２　防煙、防火区画の設定３　本部隊初期消火班の誘導４　いつ火災が起きてもすぐに消火できるよう準備５　その他必要な事項 |
| 救出・救護班 | 班長（　　　　　）班員（　　　　　）　　（　　　　　）　　（　　　　　） | １　負傷者の救出、救護２　救命、救急措置３　ドアの開放４　その他必要な事項 |
| 避難誘導班 | 班長（　　　　　）班員（　　　　　）　　（　　　　　）　　（　　　　　）　　（　　　　　） | １　避難階段への避難誘導２　要救助者、逃げ遅れ者等の確認及び報告３　警戒区域の設定４　ドアの開放５　避難経路に倒れた物や落下物を除去６　携帯拡声器等を使い落ち着いて行動するよう誘導７　その他必要な事項 |

別表18

**自衛消防組織装備品リスト（参考例）**

|  |  |
| --- | --- |
| **任務別** | **品　　　　　　　　　　　名** |
| **用意すべき資機材** | **有無** | **用意が推奨される資機材** | **有無** |
| **指　　揮** | 消防計画（自衛消防活動要領） |  | 携帯用拡声器 |  |
| 建物図面（平面図・配管図・電気設備図等） |  | 指揮本部用の資機材及び標識(隊旗) |  |
| 名簿（従業員・宿泊者・入院者等） |  | 照明器具（懐中電灯・投光器等） |  |
|  |  | 情報伝達機器（トランシーバー等） |  |
| **通報連絡** | 非常通報連絡先一覧表 |  | 携帯用拡声器 |  |
|  |  | 情報伝達機器（トランシーバー等） |  |
| **初期消火** | 防火衣又は作業衣 |  | 可搬式消防ポンプ |  |
| 消火器具 |  | 破壊器具（とび口等） |  |
|  |  | 防水シート |  |
| **避難誘導** | マスターキー |  | ロープ |  |
| 切断器具(ドアチェーン等切断用） |  | 誘導の標識（案内旗等） |  |
| 名簿（従業員・宿泊者・入院者等） |  |  |  |
| 携帯用拡声器 |  |  |  |
| 照明器具（懐中電灯等） |  |  |  |
| **安全防護** | キー､手動ハンドル(防火シャッター、エレベーター、非常ドア等） |  | エンジンカッター |  |
| 救助器具（ロープ、バール、ジャッキ等） |  | 油圧式救助器具セット |  |
| 建物図面(平面図・配管図・電気設備図等) |  |  |  |
| **応急救護** | 応急医薬品 |  | 応急救護所設置資機材（テント、ベッド等） |  |
| 担架 |  | 受傷者記録用紙 |  |
|  |  | 車イス |  |
|  |  | 自動体外式除細動器（ＡＥＤ） |  |
| **搬　　出** | 非常用搬出品リスト(契約書類、台帳、ＰＣ、電子記録等) |  | 防水シート |  |
|  |  | 保管標識 |  |
| **その他** | 災害用活動服、ヘルメット、運動靴、手袋、警笛 |  | 携帯発電機 |  |

　※ ・資機材は持ち出しやすい場所に備蓄・保管します。

・備蓄・保管施設に損壊等のおそれがある場合は、分散して保管します。

・食料（缶詰、乾パン等）：必要日数×必要人数分

・飲料水（目安３リットル／１日）：必要日数×必要人数

別表19

**エレベーター管理表**

|  |  |
| --- | --- |
| メンテナンス会社 | （株）○○サービス |
| 　　　　　　区　　　町　　　丁目　　　番　　号 |
| 通常連絡先：緊急時連絡先： |
| 担　当　者 |  |
| エレベーター | 設置場所 | 通称・番号 | 製造会社 | 備　考 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

別表20

**法定資格管理表**

【　　　　年　　　月　　　日現在】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **役割・任務** | **氏　名** | **就任年月日** | **資格取得年月日** | **資格番号** | **再講習年月日** | **次回再講習期限** |
| **統括管理者** |  |  |  |  |  |  |
| **班　長** | **指揮班** |  |  |  |  |  |  |
| **初期消火班** |  |  |  |  |  |  |
| **避難誘導班** |  |  |  |  |  |  |
| **救出救護班** |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| **班　員　等** |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

別表21

**防火・防災上必要な教育の実施予定表**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 対象者 | 実施回数(時期) | 教育内容（講習・研修会等） | 実施者 |
| 管理権原者 | 年２回（　月　月） | ・○○消防署協議会研修・地震対策セミナー | 消防署○○防災科学マネジメント |
| 防火・防災管理者 | 年２回（　月　月） | ・企業防災担当者研修・地震対策セミナー | ○○企業防災研究所○○建築防災科学センター |
| 統括管理者 |  | ・当ビル防火・防災研修会・防災対策講習会 | 防火・防災管理者○○ |
| 本部隊班長 |  | ・当ビル防火・防災研修会・自衛消防研修会 | 防火・防災管理者統括管理者 |
| 本部隊班員 |  | ・当ビル防火・防災研修会・自衛消防研修会 | 防火・防災管理者統括管理者 |
| 地区隊長 |  | ・当ビル防火・防災研修会・防災対策講習会 |  |
| 防火･防災担当責任者 |  |  |  |
| 火元責任者 |  |  |  |
| 従業員等 |  |  |  |
| 派遣社員アルバイトパート | 採用時年２回（　月　月） |  |  |
| 統括管理者・本部隊の班長・防災センター勤務者は「自衛消防業務講習」を受講させる。 |

別表22

**統　括　防　火・防　災　管　理　台　帳**

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
|  |  | 氏名・住所（法人の場合は、名称・住所・代表者職・氏名） |
| 統括防火・防災管理者 | 氏名（勤務先所在地・名称・職・氏名） |
|  | 構造様式（階数） | 建築面積㎡ | 延面積㎡ | テナント数(従業者数) |
|  | 敷地面積　　　　　 ㎡ | ㎡ | ㎡ | 店（　　　名） |
| 電気・ボイラー・危険物概要 | 施設別（能力・容量・取扱数量等） | 設置（許可･届出）年月日 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 　設備別（種別・数量・設置位置等） | 　設置（届出）年月日 |
| 備　　　　　考 |  |